令和７年 第２回 原村議会定例会　一般質問通告一覧表

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
1	芳澤　清人	1　県道 197 号払沢茅野線、阿久から坂室路線について	1　県道 197 号払沢茅野線の改良予定としている坂室ガードの変更路線について、阿久から坂室間の路線は、悠生寮前より中央自動車道の桁下をくぐり、㈱キッツ茅野工場の南側に抜ける計画となっている。この区間では急な勾配が予想され、勾配が６～７％になると聞いている。また、道路下には大早川があり、難工事が予想される。そのような中、この区間の工事において、どのような規模と形態の道路を想定しているのか。また、この計画に関する現在の進捗状況は。	村長
			2　計画されている道路ルートは、急坂や森林を通り抜ける区間があり、特に昼間でもカラマツ林による暗さが際立ち、特に冬季は路面凍結が心配される。また、中央自動車道下の桁幅が狭く、交差部分の角度が鋭角であり、通行の安全性について不安が残る。これらの状況に対し具体的にどのような対策を計画されているか。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
1	芳澤　清人		3　悠生寮の利用者にとって、散歩は日課になっており、特に阿久遺跡に向かうルートは頻繁に利用されている。この散歩コースが新設される道路と重なる計画になっているため、歩道の設置を望む声が上がっている。さらに、中央自動車道の桁下で側道と交差する予定の箇所については、歩行者の安全性が懸念される。このルートにおいて、歩行者の安全をどのように確保する計画か、具体的な対策はあるのか	村長
			4　計画されている道路ルートは、柏木区民からは阿久信号を抜ける際に利用しづらいとの意見が寄せられている。特に柏木信号機から阿久信号機の間はヘアピン状のカーブになっており、車での通行が困難だという声が上がっている。令和５年６月の一般質問で、村長はこの交差点の改良が重要であるため、県に問い合わせをするとの答弁をされた。加えて、この交差点は朝夕の通勤車両で混雑するため、改良が進めば柏木区内からの通行がスムーズになり、住民の利便性が向上すると考えられる。このような状況を踏まえ、交差点改良に向けた進捗状況や具体的な計画について、現時点での村としての対応は。	村長
			5　計画中の道路について、具体的な工事開始時期と工事期間は。また、この路線は災害時の緊急輸送路線として重要な役割を担い、国土強靭化の観点からも価値が高いと考えられる。この点を踏まえ、当該工事に対し国の補助金はあるのか	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
1	芳澤　清人		6　現県道については、舗装の劣化や側溝などの補修が必要な箇所が見受けられる。これらの補修工事を実施した上で、県道から村道へ切り替えることを望むという区民の声があるが、この要望に対して、実現の可能性は。	村長
		2　阿久川護岸工事について	1　中央道上の阿久川において、護岸に積まれたフレコンバックが崩れ、河川を一部せき止めている状況が確認されている。この箇所については、梅雨時の増水に伴いさらなる護岸の崩落の危険性が懸念される。早急な対応が必要と考えるが、現時点でどのような対策が計画されているのか。	村長
			2　中央道までの阿久川の護岸工事について、県による工事が継続して実施されるかどうか、状況を聞いているか。	村長
		3　小中学校の教育について	1　昨年実施された中学校の全国学力試験の結果について、各教科について県平均及び全国平均と本村の平均点はどうであったか。また、これらの結果の分析について、どのような課題があると考えられるか。	教育長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
1	芳澤　清人		2　学習指導要領が掲げる目標について、特にアクティブラーニングを通じた『生きる力』の育成に焦点を当てることは非常に重要であると考える。正解のない課題を通じて得られる問題解決能力、思考力、判断力、表現力などは、現代社会が抱える複雑な課題に対応するための基盤となるものであり、こうした能力を育むための教育の実践が求められていると理解している。一方で、アクティブラーニングを効果的に行うためには、教師の指導スキル向上や適切な教材の準備、さらに学習環境の整備など、いくつかの課題が存在していると考えられる。それらの課題に対して、どのような具体的な支援策を講じているか。	教育長
			3　小中学校における授業時間の確保は教育活動の基盤として非常に重要であると考える。その上で、問題解決型のような能動的な学びに繋がる授業を、日常的な授業体系の中でどのように組み入れているのか。また、さらにその取り組みを充実させていくために、現在検討されている方向性や、今後の計画は。	教育長
2	森山　岩光	1　令和５年豪雨災害の教訓を生かした強靭化対策について	1　令和５年５月８日、６月２日の集中豪雨により、村内各地で多くの被害が発生した。農林関係では 63 件、畑の土流出・浸水、土手決壊、河畔の浸食、崩落等。建設関係では 54 件、道路に土砂流出、河川護岸の浸食、崩落、側溝からの溢れ、川の氾濫、倒木、下水道管渠の破損などで、近年に例を見ない被害件数となった。改めて、復旧工事の進捗状況と見えてきた課題は。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
2	森山　岩光		2　この災害で脆弱性を露呈したのが、集落内の道路状況だ。側溝・排水ますの未設置、設置はされているが機能不全の状況で、道路は川となり激流となって下流域に流れ、氾濫・越水を引き起こした状況となった。今後、同様な災害が想定されると考えるが特に、住宅地エリアで危険度の高い箇所の調査・検証は実施したか。	村長
			3　例えば、県道から西側の道祖神川周辺の道路も側溝はなく、排水ますは機能せず、道路は川となり氾濫・越水し住宅地周辺が被災した。豪雨災害から２年経過したが、改善整備の計画はあるか。	村長
		2　農業振興策（生食用ぶどう栽培の普及促進と支援の考えは）	1　令和２年 12 月にワイン特区の認定を受け、ワイン醸造・ぶどう栽培は普及し、定着してきていると認識する。改めて、村内のぶどう栽培生産者数、ワイナリー数、ワイン生産量の現状と見えてきた課題について、見解は。	村長
			2　近年、８戸ほどの農家が生食用ぶどう栽培にチャレンジしている。栽培面積は小規模で自家用・試験的に栽培している方が多い状況だが、既に直売所への出荷や販売を行っている生産者も出始めている。担当課では、生食用ぶどうに関わる問い合わせ、相談などは受けているか。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
2	森山　岩光		3　JA 信州諏訪では、大粒種の品種や栽培方法の研究をするため、生食用ぶどう研究会を立ち上げ会員を募集している。加入条件は、JA 農産物直売所での販売、または集荷所への出荷を目的として栽培を始めようとする方。または、既に栽培している方としている。JA から、ぶどう振興に関わる要望など聞いているか、今まで協議、検討の機会はあったか。	村長
			4　今後、生食用ぶどうの普及促進についてどう取り組んでいくか。	村長
		3　水源涵養環境と浅井戸の設置状況は	1　近年、別荘・住宅建築が増加傾向にある。特に、エコーライン東側エリアに集中していると認識する。改めて、直近５年間の開発行為許可申請件数と浅井戸の申請件数、令和６年度末の総件数について伺いたい。	村長
			2　原村環境保全条例に基づき開発行為が行われているが、浅井戸の新設と並行して住宅建築による伐採も進んでいる状況下、水の確保・水源の涵養面で整合性の取れた環境になっているか、最寄り住民から苦情や要望などの声は寄せられてないか。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
3	中村　浩平	1　ふれあいセンターもみの湯の改修計画と運営について	1　もみの湯を改修するにあたって、執行部は住民アンケートを実施した。その結果は。	村長
			2　現在、アンケート結果を村ホームページで住民に公開しているか。特に個別意見を参照したいが。	村長
			3　アンケートの結果をどのように分析したか。	村長
			4　先に、「もみの湯の改修は、必要最小限で行う。」と一方的な発言があった。その真意は。これはアンケート結果に沿ったものなのか。	村長
			5　旅館の樅の木荘には、5 億円もかけて大改修したのに、住民の健康増進と福祉施設であるもみの湯は必要最低限の改修。これでは筋が通らないが。	村長
			6　現在は若者を中心に、セパレートされた空間・施設が好まれている。時代のニーズにあった改修をする考えはないか。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
3	中村　浩平		7　令和元年に、料金を住民と住民以外とで差別化した。売上金額を含め、どのような成果があったか。	村長
			8　金券とも言える回数券に突然、有効期限が設定された。一体誰の指示でいつから設定したのか。本件は議会の議決事項であることから、場合によっては懲戒にも該当する行為であるが。	村長
		2　執行部が作成している行政組織図、余りに不可解	1　住民の代表者で構成される議会を、村長部局の下に記載している意図は。	村長
			2　選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会が欠落している。重要性の認識が欠けているのではないか。	村長
			3　事務としては書いてあるが、組織として原小・原中の記載が無い。命令系統は一体どうなっているか。	教育長
			4　決裁権が付与されている子ども課長は、学校長に対し、指示・命令ができるのか。	教育長
			5　診療所長に対して、誰からも命令系統が無いがよいのか。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
3	中村　浩平		6　保健福祉課の４係は、保健福祉課長と診療所長の二系統から命令を受けるようになっている。あり得ないことであるが。	村長
			7　上司と部下と思われる役職が同列で書かれている箇所が複数ある。誤った記載ではないか。	村長 教育長
		3　老朽化している深山農村公園、中新田区に譲渡するつもりか。	1　階段の土留めや手すりの丸太は腐り、駐車場の白線は写真の通り完全に消えている。なぜ改修せず、ここまで放置してきたのか。使う人のことなど全く考えていないのではないか。	村長
			2　予算を補正してでも、直ちに白線を復旧すべきであるが。	村長
			3　階段が崩れていたため、指定管理者は復旧するよう村に何度も連絡したが、執行部は対応してこなかった。このため、止むを得ず地元の中新田区が復旧工事をしたが、この費用は区に弁償すべきではないか。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
3	中村　浩平		4　深山農村公園は、日没以降は使用ができない規定となっている。ところが夜中に花火を上げられたり、騒音の出る遊具が利用されたりと、近隣住民はたびたび安眠を妨害され、迷惑している。また、駐車場の不正利用も後を断たない。議会と村長が定めた使用にあたっての決まりを、看板で表示しておくのは、当たり前の話であるが。	村長
			5　このようなずさんな設備状況の中、執行部において公園を中新田区に譲渡したい思惑があると聞いたが事実か。またその理由は。	村長
			6　仮に中新田区が譲渡を認めた場合、老朽化している建物やバックネット等の改修費用は、その後誰が負担していくのか。	村長
			7　これまで公園は、村の公共施設であるため、許可を受ければ誰でも使えた。しかし区の所有にしてしまえば、当然利用者の幅が狭まる。住民の福祉、健康増進に逆行することになるが。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
4	百瀬　嘉徳	1　屋内ゲートボール場の利用について	1　樅の木荘に隣接する屋内ゲートボール場の利用について、特に冬季においては、原村ゲートボール協会主催の大会が頻繁に開催されており、大変活気のある場となっている。現在村内のゲートボールチームは21チーム（払沢17、菖蒲沢1、大久保1、柳沢2）で活動している。特に高齢者の運動の場として健康増進に寄与している重要な施設と感じている。そこで、屋内ゲートボール場の過去1年間の利用状況について、利用者数や協会主催の大会実施数、その他イベントの開催状況は。また、村内の高齢者の健康促進や交流を支援する取り組みとして、この施設が果たしている役割は、どのように評価しているか。また、その役割を拡充する計画はあるか。	村長
			2　屋内ゲートボール場の年間の使用料金収入額は。また、使用料金額の設定基準は、利用者にとって公平で負担の少ないものとなっているか。地域の福祉施設としての役割を考慮した適切な金額か。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
4	百瀬　嘉徳		3　近年、中新田において２チーム、南原で１チームが活動を終了しており、本村を含め地域全体でゲートボールチームの減少傾向が見られる。しかし、そのような状況の中でも本村のゲートボールチーム数は諏訪管内で最多を維持しており、地域における高齢者の交流と健康促進の場として重要な役割を果たしていると考えている。この状況において、ゲートボール愛好家の減少が続けば、高齢者の運動不足や交流機会の喪失により健康維持が難しくなる懸念があり、それが医療機関受診者の増加や医療費の上昇につながる可能性も否定できない。高齢者福祉と健康促進の観点からゲートボールの普及と推進、そしてその環境の改善に向けた具体的な対策が必要であると感じているが、屋内ゲートボール場の利用者数や利用頻度を増加させるための施策として、料金の見直しや減免措置、新たな割引制度（例えば高齢者割引やグループ利用割引）の導入等の検討はできないか。	村長
			4　ゲートボール活動が高齢者の健康促進や地域の活性化に寄与していることを踏まえ、屋内ゲートボール場の利用者や愛好家が集まりやすい環境作りとして、広報活動による新規参加者の募集や、設備のリニューアルなどの考えはあるか。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
4	百瀬　嘉徳	2　少子化対策について	1　昨年、当村で生まれた子どもの数は約 30 人弱と聞いている。この数字から、地域の少子化の現状について改めて考える必要があると感じている。これまで本村では、子育て支援や出生率向上を目的としてさまざまな施策が実施されてきたと思うが、18 歳未満までの医療費無料化や保育料の軽減・無料化など、少子化対策として実施されている施策について、それぞれの具体的な成果と課題をどのように評価しているか。	村長
			2　現在の少子化の状況において、本村においても出生数が低迷している現状を考えると、子育て支援や少子化対策のための取り組みがさらに強化される必要があると感じる。正直なところ、少子化問題に対してこれといった「決め手」がないと感じる方も多い。しかしながら、複合的な対策を講じることで、少しでも状況を改善できる可能性があると考える。そこで、少子化対策の一環として住民の負担軽減や子育ての魅力向上を目指した「出産お祝い金」を見直し、金銭的にインパクトのある支援として、出産 1 件につき 50 万円、あるいはそれ以上の金額を設定することで、直接的な金銭的支援を行うことが可能かと思うがどうか。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
4	百瀬　嘉徳		3　現在の状況を鑑みると、現行の施策だけでは課題解決には至らない可能性があると感じている。現状維持ではなく、時代の変化や住民のニーズに合わせた新たな施策の検討が求められている。現状を打破し、より効果的な取り組みを実現するために、今後の具体的な対策をどのように考えているか。	村長
5	小松　志穂	1　村土利用とゾーニングについて	1　国土利用計画　第３次原村計画は村土利用の方針を定めるものとして策定され、目標年次は 2025 年となっている。この計画の総括と評価および今後は。	村長
			2　第６次総合計画には「土地利用構想」があるが、これは国土利用計画第３次原村計画の基本構想に沿うものとなっている。第６次総合計画土地利用構想策定にあたり、国土利用計画の評価を基に見直し等はされたか。	村長
			3　土地利用構想では村土利用のゾーニングがある。グリーンリゾートゾーンへの定住者が増加している現状があるが、ゾーニングは現状に適合しているか、見解は。	村長
			4　村が移住定住を推進するエリアは、リビングゾーンとされているが、それを推進するためのこれまでの施策とその評価、および現状は。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
5	小松　志穂	2　景観・環境施策の現状と今後について	1　村長は環境保全条例の改正を明言している。見直しについて令和５年第４回一般質問時の担当課長の答弁は、「現状の問題点を洗い出して素案を作成する」との答弁であった。洗い出しの結果と今後の方向性は。	村長
			2　同様に、景観施策のビジョンに関する質問では、「第６次総合計画策定時のアンケートにより住民の声を把握し今後の施策の参考にする」という主旨の答弁であった。アンケートやワークショップの実施による総合計画策定を経て、どのような景観・環境保全のビジョンが導き出されたか。	村長
			3　上水道未整備のエリア等への宅地開発を不安視する声がある。また、消火栓の新設が困難なエリアへの移住も増えている。上水道未整備エリアおよび消火栓未整備エリアに対する懸念やその対応策は。	村長
			4　合併処理浄化槽は周辺環境への悪影響を与えないための維持管理として、保守点検、年１回以上の清掃、年１回の法定検査が浄化槽法で義務付けられている。管理や検査の実態はどうか。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
5	小松　志穂		5　森林の保全について、保健休養地の宅地等開発による伐採への不安の声が聞かれている。森林整備計画内において伐採率は基本30%以下とされているが、実態はどうか。また、今後の宅地開発の可能性やその森林保全への影響はどう見ているか。	村長
			6　リニア中央新幹線開通を見越して南部エリア（判之木地区と南原地区を中心としたエリア）のグランドデザインを策定する方針が示されているが、グランドデザインは南部エリアだけで良いのか。景観・環境保全のビジョンとつながる村土全体のグランドデザインの策定が必要では。	村長
6	村田　俊広	1　防災について	1　消火栓はあるが、ホースが設置されていない所があったが、適切か。	村長
			2　令和５年12月に長者池の消火栓について質問したが、その後改善した部分はあるか。また当地での消防車の運行でスペースや水源など十分に備えているか。	村長
			3　防災に関して障がい者や外国人への配慮はされているか、方針について回答を。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
6	村田　俊広		4　ハザードマップで障がい者への配慮（例えば点字版など）、避難所の表記・案内の多言語化など具体的な取り組みは。	村長
			5　避難場所、避難施設について、緊急時に各避難場所・施設が即座に使える状態にあるか。	村長
		2　区・自治会について	1　村のホームページには区・自治会について全く記事がない。発信の責任・担当はどこか。	村長
			2　総合カレンダーを自治会で配布したが、郵便受けに入る程度にもう少しコンパクトにできないか。	村長
			3　行政への市民参加という意味で区、自治会への委任はある程度必要なことだと思うが、現状、過剰ではないかという声があるが見解を聞く。	村長
			4　職員を増やすなど区、自治会への負担を減らす職員体制を築く計画や対策はあるか。	村長
			5　民生委員の充足率と、なり手の確保の方策は。	村長
		3　樅の木荘について	1　RV パーク沿いのトイレ管理も指定管理者の業務とされているが、ドアが重くて開きにくいなど管理不十分ではないか。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
6	村田　俊広		2　住民に樅の木荘内のトイレも使わせないような施設運営だが、見解は。	村長
		4　フリースクールについて	1　村内の児童、生徒の不登校の現状と対応策について伺いたい。	教育長
			2　フリースクールに関する県の方針を受けて、村として検討した課題は何か。	教育長
			3　諏訪・茅野・富士見ではフリースクール利用者への補助制度が創設されている。当村における制度検討の状況を伺いたい。	教育長
7	宮坂　早苗	1　地方創生交付金､UIJ ターン就業創業移住支援事業の実施を	1　地方創生交付金の事業である UIJ ターン就業創業移住支援事業を市町村が実施することで、国及び県の補助金対象となる。主に、地方での起業・就業者や、テレワークによる転職せずに移住した者などに対し、移住支援金（最大 100 万円）や起業支援金（最大 200 万円）を支給する仕組みである。諏訪地域で実施していないのは当村のみが実施していない。この状況を踏まえ、当村がこの事業を導入しない理由、また今後の導入の可能性についての考えは。	村長
			2　起業チャレンジ補助金の再設置を。村内の勤務先が少ないことで起業による働き方を進め､UIJ ターンの推進を図ったもの。以前の要綱を見直して再設置を行ってはどうか。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
7	宮坂　早苗	2　住居確保のための、国土交通省空き家対策総合支援事業の活用を	1　移住促進を行っているが、住居や土地が少なく、対応ができていないのではないか。特に空き家対策は進んでいない。国の空き家の除却・活用への支援事業の活用も考えてみてはどうか。	村長
		3　奨学金選考基準にひとり親を対象とする文言の追加を	1　奨学金条例施行規則（選考基準）第３条に「ひとり親家庭」という文言を追加し、対象とした方が良いのでは。	村長
		4　地域応援商品券事業、地域経済の循環を考えて行うことが重要では	1　住民の生活支援と事業者支援を目的とした第 8 弾地域応援商品券事業が行われる予定となっている。しかし、財源の確保に苦労している現状を考えると、事業を進めるにあたって地域経済の循環を促進し、効果的に活用することが重要と考えるが、いかがか。また、これまでの商品券事業の成果を踏まえ、今回どのような工夫がされるか。	村長
8	半田　裕	1　村の事業の見える化を	1　4 月 11 日に開催された事業説明会の目的は。より多くの住民に伝える必要があると思うが、何人に来てもらいたいという目標を持って広報等にあたったか。	村長
			2　説明会では事業説明の時間が長く、質問の時間がなかったため住民が聞いているだけであった。今年度予算を通して「こんな村になる！」というようなプレゼンテーション資料等を使ったわかりやすい説明会になればと思うが可能か。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
8	半田　裕		3　より多くの住民が関心を持ち、楽しみながら村の現状や実施した事業、成果の説明を行う「村政報告会」を実施しては。	村長
		2　充実した地域おこし協力隊の活動への支援を	1　地域おこし協力隊の目標設定をどのように行っているか。しっかりと数値化された目標を立てているか。	村長
			2　本村を選ぶ隊員はミッションよりも村に移住したいという隊員が多いと感じる。ミッションとのミスマッチを減らすために、希望者の力をより活かすことのできるフリーミッション型の募集の比率を増やす考えはあるか。	村長
			3　事業委託型の隊員の制度がスタートする。現在の隊員にも委託型の方が力を発揮してもらえる隊員もいると思うが、切り替えを検討してはどうか。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
8	半田　裕		4　自動車や住宅等は隊員本人が契約をし、村が手当を出すのが望ましいと考えるがどうか。	村長
			5　地域の中で隊員の活動を伴奏支援する仕組みが不十分。地域住民や協力隊OBをさらに活用し組織化するなど、サポートの充実が必要と考えるがどうか。	村長
		3　子どもの権利を大切にした子どもの放課後支援を	1　学校の放課後校庭利用に対して子どもたち及び保護者からの要望が出ている。保護者の責任において利用するという前提で開放できないか。	教育長
			2　子ども子育て支援センターのコンセントを子どもたちが使用できない。使用可能とすべきと考えるがどうか。	教育長
			3　検討委員会で協議され設置された動画を見るためのモニターが使用禁止になっているのはなぜか。有効に活用すべきと考えるがどうか。	教育長
			4　子どもたちに関わるルール作りには子どもたちが参加すべき。子どもたちがセンターのルールを決める機会を設けるべきと考えるがどうか。	教育長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
8	半田　裕		5　公共施設である子ども子育て支援センターの放課後利用について、迎えを待つ子ども以外を利用禁止としているのは望ましくない。誰でも使える場所とすべきと考えるがどうか。	教育長
9	佐宗　利江	1　「老人クラブ」の呼称使用について	1　村における使用の現状は。	村長
			2　住民に対して使用されており、快く思われていない。改善の予定はあるか。	村長
		2　二地域居住について	1　国が推進する二地域居住についてどう考えるか。	村長
			2　実施の予定はあるか。	村長
			3　村内における求人情報を整備する必要性は。	村長
		3　樅の木荘・もみの湯について	1　樅の木荘 DX 化のスケジュールは。	村長
			2　昨年度と比較して、この 1 年間の足湯の運営状況は。	村長
			3　冬季のレストランにおける村内産野菜の使用状況は。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
9	佐宗　利江		4　宴会客に対するもみの湯利用の有料化及び内湯の利用について、いつから有料になり、その理由と改善の余地はあるか。	村長
			5　もみの湯露天風呂におけるかけ流しの状況は。	村長
			6　樅の木荘及びもみの湯の今後の運営に対して、村としてどのような見解を持っているか。	村長
10	松下　浩史	1　産業振興、どう取り組んでいるか	1　村内産業の現状についてどのようにとらえているか。	村長
			2　現状把握をするにあたって、どのような取り組みをしているか。事業者数や売上高の推移などのデータ収集や分析は行われているのか。また、商工会や事業者との会議など情報交換の場は設けられているか。	村長
			3　牛山村長就任以来、商工業、農業分野における、新しい産業振興施策はどのようなものがあるか。そして、それをどう評価しているか。	村長
			4　産業振興施策は十分か。今後、何か新たな施策の考えはあるか。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
10	松下　浩史	2　チャレンジ補助金廃止の理由と今後について	1　チャレンジ補助金廃止の理由は。	村長
			2　昨年度後半には駆け込みで数多くの応募があったと聞く。継続することが必要だったのではないか。今後は新規起業支援について何か新たな取り組みを行う予定はあるか。	村長
		3　有害鳥獣被害防止対策について	1　総合計画には「地域や個人が設置する有害鳥獣被害防止対策を実施」と記載されている。具体的な取り組みは行われているか。	村長
			2　移住者の増加で、鳥獣が生息する場所と人が暮らす場所が近くなっている。移住者の多くは農業と無縁の方々である。有害鳥獣被害防止対策の重要性について理解を深めてもらう必要があると感じるがどうか。	村長
		4　役場は魅力ある職場か	1　今年度の新規採用職員に村内出身者がいない。応募もなかったと聞いている。村外から多様な人材は歓迎するところだが、この状況をどうとらえているか。	村長
			2　働く者にとって魅力的な職場とするために取り組んでいることはあるか。	村長

通告番号	発言議員名	質　問　事　項	質　　問　　の　　要　　旨	質問の相手
10	松下　浩史		3　施策はどのように策定、決定されているのか。職員提案制度は活用されているか。良き提案を行う者には褒賞や希望する部署への異動など職員提案制度の積極的な活用を行ってはどうか。	村長